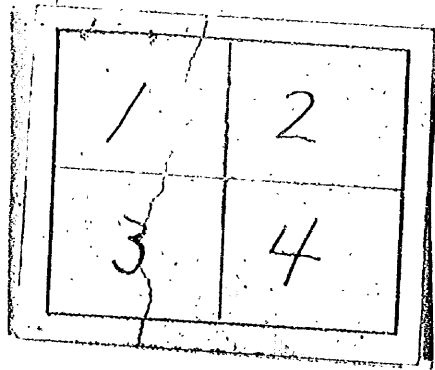


# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

0423  
0430  
0431  
0432

第五方面軍第九一師團 部隊名 第七四旅團作業隊 通稱號 郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員人制編	別 隊	隊長名 ( )内は先代を示す 中尉 小林 政吉 一小長 少尉 青木 茂	開入 戦時 時員	駐屯地 平 時	戦時 時	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	隊別	入「ソ」人員	滿洲殘留	收
<p>二〇、八、一八 概略島より占守島に前進し「ソ」軍と衝突したが激戦を遂げず</p> <p>八、二一 三好野飛行場にて武装解除</p> <p>九、一 第十五労働大隊を編成し</p> <p>一一、二六 片岡より乗船</p> <p>一二、四 「マホトカ」に上陸 同地上陸後「ムーチャン」北方約六十キロの地帯に於て二〇、十迄偵察作業に従事し「マウニヤルチヨム」等で作業して居りしに「ソ」軍は同年十二月終戦後「マウニヤルチヨム」等が附近の牧畜所に牧畜せらる。</p>						200	島鏡嶺	島守占	<p>二〇、八、一八 概略島より占守島に前進し「ソ」軍と衝突戦は交へず</p>	<p>片岡より上陸 一二、四「マホトカ」上陸 「ムーチャン」北方六十キロの地帯に於て「マウニヤルチヨム」等が牧畜せらる。</p>	<p>占守島に於て作業第十五労働大隊を編成し</p>		200		

部隊名 第七四旅團作業隊

通稱號

郵便所名

降	員人制編	隊 別	隊 長 名	開入 戦 時 間	駐 屯 地	戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 変 動	作 業 大 隊 以 前 の 入 員 変 動	入 員 計	満 洲 残 留	収 容 所 名	収 容 所	満 洲 以 前 の 入 員 計	状 況 不 明 者 数
			(内は先代を示す) 中尉 小林 政吉 一小長 少尉 青木 茂	200	島鏡嶺 島守占	二〇、八、一八 視察島より占守島に派遣 「ソ連」と海軍戦力は交へず	片岡より上級 一、二、四、ノボトカ上陸 「ソ連」北方六〇新の地盤に於て「 下ウゴキ」アルチオーム」等に攻撃	占守島に於て作業第十五大 隊編成	200					

<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>
<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>	<p>九、一          第十五号大衆を編成し</p>	<p>二〇、八、一八          三〇、八、一八          三〇、八、一八</p>

一、小  
二、中  
三、大

200

一、中  
二、大

一、中  
二、大

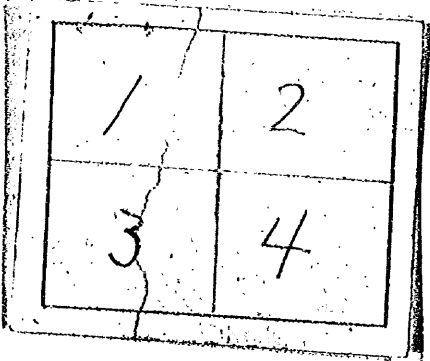
「中」  
「大」

一、中  
二、大  
三、大

一、中  
二、大

200

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團遠射砲隊

通稱 號先一二六六一

郵便所名

0433  
0434  
0435  
0436

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
二〇、八、二三 三好野飛行場に於て武装解 除 二一、一一、一一 占守島突入ノ後「イマン」 「ウヌリ」地圖各收容所に 於て勞役に従事		十九年以降		十九年以降		員人制編	
隊別		隊長名		開入		駐屯地	
本隊 大尉 清野 誠一 少尉 十和田 善作 指 小 存 小 無 小 線 小 修理 小 本部中隊		( )内は先代を示す		戦時 職員 平時 職員		島守占 上 同	
第一隊		第二隊		第三隊		部	
中尉 小甲 幸一 少尉 熊谷 安夫 指 木下 一 小 二 小 三 小		中尉 木下		中尉 大野 揆一 少尉 福島 徹		島守占 右 同	
戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ迄の變動		入ソ人員	
占守島上陸と同時に第一中隊は概ね島守占 方面に派遣、本隊、二中隊、三中隊は占 守島郡同ヶ丘附近に駐屯、二〇、四、下旬 三好野飛行場附近駐屯、前進中の歩兵の 四葉山々上の敵機隊の爲、前進中の歩兵の 保護射撃、二〇、四、下旬方面陣地確保、二一 四、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、 十二、三好野兵舎へ入り、二四、武解		古守島西南方約二軒大聖堂附近前進中 発見す 「」軍歩兵を求めて射撃す 戦死約一名 死 二名		二〇、八、三〇 占守島に於て作業第一〇大 隊を編成し 二〇、一一、三三 占守島發 二一、一一、二四「イマン」		二〇、八、三〇 占守島に於て作業第一〇大 隊を編成し 二〇、一一、三三 占守島發 二一、一一、二四「イマン」	

隊名第九一師團速射砲隊

通稱號先一二六六一

郵便所名

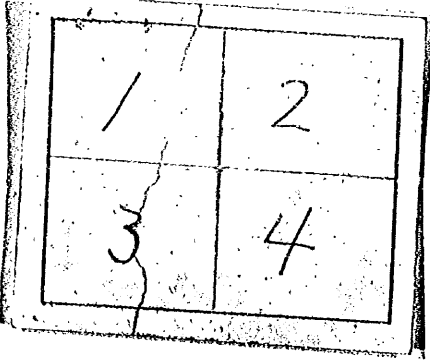
隊別	隊長名	開人	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	満洲殘留	收容所	歸還人員	狀況不明者數
隊別	隊長名 (内は先代を示す) 大尉 清野 誠一 少尉 十和田 善作 指小 有線 小 指小 無線 小 修理小 本部中隊	開人	駐屯地 島守占 上 同	戦闘間の状況及損耗 古守島砲臺南方約二軒大砲臺附近通過砲臺 發見せず 「ソ」軍歩兵を求めて射撃す 戦死約一名 死 二名	終戦後の人員變動 古守島上空と同時第一中隊は機銃砲臺 湖方面に渡渡、本部、二中隊、三中隊は古 守島砲臺附近に駐屯、二〇、四、下如 三好野飛行場附近駐屯、 四嶽山々上の改換隊の爲、前進中の歩兵の 支援射撃、二〇、沿尻方面陣地確保、二一 對陣、二三、砲臺街道々路上集合大砲臺へ 突進 二三、三好野兵舎へ入り、二四、武庫	作業大隊より入ソ返の變動 二〇、八、三〇 古守島に於て作業第一〇大 隊を編成し 二〇、二、三 古守出發 二一、一、二四「イ」	入ソ人員	満洲殘留	收容所	歸還人員	狀況不明者數
部	本	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
隊中第一	中尉 小甲 幸一 少尉 熊谷 安夫 指小 木下	隊中第二	中尉 木下	隊中第三	中尉 大野 撥一 少尉 福島 徹	隊中第四	中尉 木下	隊中第五	中尉 大野 撥一 少尉 福島 徹	隊中第六	中尉 大野 撥一 少尉 福島 徹





部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第
<p>少尉 小甲 幸一 中尉 熊谷 安夫 少尉 木下 中尉 小 一少 二少 三少</p>	<p>中尉 小甲 幸一 少尉 熊谷 安夫 中尉 木下 中尉 小 一少 二少 三少</p>	<p>中尉 木下</p>	<p>中尉 大野 揆一 少尉 福島 徹</p>
<p>本務官 修 小 無 小 修 小</p>	<p>島 鏡</p>		
<p>司 正</p>		<p>島 守 占</p>	<p>右 同</p>
<p>司 正 二 少 三 少</p>	<p>占守島上陸と同時に第一中隊は熊谷安夫 隊方面に展開、本部、二中隊、三中隊は占 守島南西ケ丘附近に駐屯、二〇、四、一各 三好野飛行場附近に駐屯、 四隊は々々上の攻撃隊の爲、前進中の歩兵の 後衛隊、二〇、海軍方面陣地確保、二一 隊、二二、三、四隊は占守島上陸を大規模に 支援 二二、三好野飛行場入り、二四、海軍</p>		
<p>二〇、四、一各 三好野飛行場附近に駐屯、 四隊は々々上の攻撃隊の爲、前進中の歩兵の 後衛隊、二〇、海軍方面陣地確保、二一 隊、二二、三、四隊は占守島上陸を大規模に 支援 二二、三好野飛行場入り、二四、海軍</p>			
<p>二〇、四、一各 三好野飛行場附近に駐屯、 四隊は々々上の攻撃隊の爲、前進中の歩兵の 後衛隊、二〇、海軍方面陣地確保、二一 隊、二二、三、四隊は占守島上陸を大規模に 支援 二二、三好野飛行場入り、二四、海軍</p>			

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團第一砲兵隊 (1)

通稱號先 一一二六六一

郵便所名

0437 0438 0439 0440		全般概要		<p>部隊の主力を占守島に集結 戦死傷約三〇〇 占守島月田渡 二〇、一一、二六 占守島月田渡 二〇、一一、二六 占守島月田渡 二〇、一一、二六 占守島月田渡 二〇、一一、二六</p>	
1346		轉入		十九年以降	
1346		轉出		十九年以降	
1346		員人制編			
中三第	隊中二第	隊中一第	部	本	別隊
<p>中尉 甲斐 康太 中隊機關 指揮小隊 1少尉 工藤良憲 2少尉 水野武信</p>	<p>中尉 前田 豊 少尉 竹橋 正皓 則應 大塚 謹</p>	<p>中尉 伊藤 鈴木 中村 同 鈴木 中村</p>	<p>長中佐 加瀬ヶ谷陸男 副中尉 阿部 唐木良三郎 主同 唐木良三郎 醫同 村尾 忠甫 獸少尉 齋藤 秀一 中尉 島田 禮一 同 小川善四郎 同 中町 仁郎 同 大竹 秀夫 醫少尉 土田 良治 准尉 井手口 登</p>	<p>隊長名 ( )内は先代を示す</p>	<p>開入 戦時 駐屯地</p>
80~90	80~90	80~90	250	占守島 (谷基)	占守島 (問ノ蔭)
上同	上同	上同	上同	北海運道に轉進	占守島 (問ノ蔭)
死一五	<p>明瞭少尉下士官兵計七八名國籍不明 最近迄「ソ」軍に抗し行方不明</p>	<p>終戦前北海道に轉進 航海中潜水艦攻撃を受け海没殆ど全滅</p>	<p>部隊の主力を占守島に集結戦死傷約三〇〇</p>	<p>唐木主計、土田重曹、中村少尉、井手口准尉作業大隊に轉出</p>	<p>作業大隊より入「ソ」迄の變動 占守島に於て作業第十四大隊・〇〇〇名編成加ふるに病院より退院者(今迄)二百轉入</p>
1A850 (2A 5 TK3) (其他 142)		隊別計		入「ソ」人員	
				滿洲残留	
				收	

隊名第九一師團第一砲兵隊(1)

通稱號先一二六六二

郵便所名

隊別	隊長名	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソソ迄の變動	入ソソ人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
第九一師團第一砲兵隊	長中佐 加瀬ケ谷陸男 副中尉 阿部 唐木良三郎 主同 唐木良三郎 中尉 齋藤 忠南 少尉 中村 秀一 中尉 島田 禮一 同 小川善四郎 同 中町 仁郎 同 大竹 秀夫 同 土田 良治 同 井手口 登 同 伊藤 鈴木 中村 同 伊藤 鈴木 中村	250	島守占 (谷基) 上 同	<p>部隊の主力を占守島に集結戦す 戦死傷約三〇</p> <p>終戦前北海道に轉出 航海中潜水艦攻撃を受け海没殆ど全滅</p>	<p>唐木主計、土田政隆、中村少尉、井手口准 尉作業大隊に轉出</p>	<p>占守島に於て作業第十四次 隊、〇〇〇名編成 加ふるに病院より退院者 (全部隊)二百轉入</p>	1A850(2A 5 TK3) (その他 142)	<p>收容所名 スーチャン 第四收容所</p>	<p>500~1200 10名内外</p>	<p>満洲ソ領 計</p>	
第三隊	中尉 甲斐 康太 中隊機關 指揮小隊 1少尉 工藤良憲 2少尉 水野武信	80~90	島守占 (問ノ蔭) 上 同	<p>死、一五</p>							
第二隊	中尉 前田 豊 同 竹橋 正皓 少尉 則應 護 同 大塚 護	80~90	島守占 上 同	<p>別座少尉下士官兵計七八名國籍不明 最長途「ソ」軍に抗し行方不明</p>							
第一隊	中尉 伊藤 鈴木 中村	80~90	進轉に道海北 上 同								

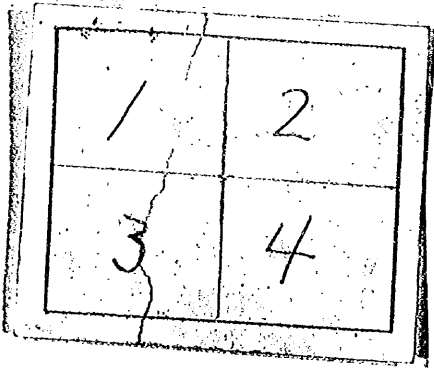
二〇、二六、二四  
二〇、二一、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六  
二〇、二二、二六

1346

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊
副中尉 加瀬ケ谷隆男 主 同 唐木良三郎 警 同 村尾 忠甫 少 尉 齋藤 秀一 中 尉 島田 禮一 同 小川善四郎 同 中町 仁郎 同 大竹 秀夫 准尉 井手口 登 同 土田 良治	中尉 伊藤 中尉 同 鈴木 中尉 同 中村 中尉	中尉 前田 正晴 同 竹橋 正晴 少尉 則應 護 同 大塚 護	中尉 甲斐 康太 中隊機關 指揮小隊 1少尉 工藤良憲 2少尉 水野武信	中尉 佐藤
250	80~90	80~90	80~90	80~90
島守占 (谷基)	進轉に道海北	島守占	島守占 (間ノ蔭)	島 筵 幌 (城 盤)
上 同	上 同	上 同	上 同	上 同
終戦前北海道に轉出 航海中潜水艦攻撃を受け海没殆ど全滅	終戦前北海道に轉出 航海中潜水艦攻撃を受け海没殆ど全滅	副連少尉下士官兵計七十八名函館等に於て 最後迄「ソ」軍に抗し行方不明	死、一五	

本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊	第 四 中 隊
三三三 加藤ケ谷彦男 副中尉 河野 主 同 唐木良三郎 醫 同 村尾 忠甫 少 尉 齋藤 秀一 中 尉 島田 禮一 同 小川善四郎 同 中町 仁郎 同 大竹 秀夫 醫 少尉 土田 良治 准 尉 井手口 登	中尉 伊藤 同 鈴木 同 中村	中尉 前田 正皓 同 竹橋 正皓 少尉 則應 護 同 大塚 護	中尉 甲斐 康太 中隊機關 指揮小隊 1少尉 工藤良憲 2少尉 水野武信	中尉 佐藤
250	80~90	80~90	80~90	80~90
島 守 占 (谷基)	進轉に運海北	島守占	島 守 占 (間ノ蔭)	島 筵 幌 (城 盤)
上 同	上 同	上 同	上 同	上 同
終戦前北滿鐵に在りて 新海軍中隊水雷攻撃隊を 受守海軍隊と全隊	即應少尉下士官兵計七、八各隊機關に於て 最後迄「一」旗を執りし方不明	死、一五		
1A850 (2A 5 T23) (英の艦 142)				
スーパーストリー 第四夜巻所				
900~1200				
10名以内				

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0141  
0142  
0143  
0144

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團第一砲兵隊 (2) 通稱號 先一二六六一 郵便所名

全般概要					編制人員	隊別	開入	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員	満洲残留	収容
轉入					轉出	別	時	平時						
十九年以降					十九年以降	隊長名	戦	戦時						
隊中第六					隊中第七	隊中第八	隊中第五	戦時	戦時					
中尉 松田						中尉 青山 綴大	80~90	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪
80~90					80~90	80~90	80~90	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪
出轉道海北					出轉道海北	出轉道海北	出轉道海北	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪	島窪
島守占					島守占	島守占	島守占	島守占	島守占	島守占	島守占	島守占	島守占	島守占
上同					上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同	上同
中尉 今儀 義雄 明														
同少尉 遠山 隆 安藏														
同少尉 小林 隆 安藏														
同中尉 今儀 義雄 明														

第八中队	第七中队	第六中队	第五中队	隊別
中尉 今儀 義雄 同 少尉 矢後 安藏 同 少尉 小林 隆榛	中尉 松田		中尉 青山 綴大	隊長名 (内は先代を示す)
80~90	80~90	80~90	80~90	開人 戦時 駐屯地
島守占	島筵親	北海道轉出	島筵親	戦時 駐屯地
上 同	上 同	上 同	島守占	戦時 駐屯地
				戦闘間の状況及損耗
				終戦後の人員變動
				作業大隊より入「ソ」迄の變動
				隊別 入「ソ」人員 計
				滿洲残留
				收容所名
				所入 死亡
				滿洲より領計
				縮還人員
				者 狀況不明 数

隊名 第九一師團第一砲兵隊 (2)

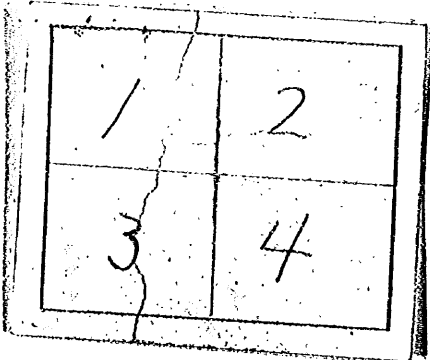
通稱號 先一二六六一

郵便所名

隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	隊 中 六 第	隊 中 五 第
中尉 伊香 忠平	中尉 今儀 同少尉 矢後 義雄 同 遠山 隆安 小林 隆彦	中尉 松田		
80~90	80~90	80~90	80~90	80~90
島籙規	島守占	島籙規	出轉道海北	島籙規
島守占	上 同	上 同	上 同	島守占

隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	隊 中 六 第	隊 中 三 第
中尉 伊香 忠平	中尉 今儀 明 少尉 矢後 義雄 同 遠山 安藏 同 小林 隆棟	中尉 松田		
80~90	80~90	80~90	80~90	80~90
島鏡梶	島守古	島鏡梶	出轉道海北	島鏡梶
島守古	上 同	上 同	上 同	島守古

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0457  
0458

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團第一砲兵隊 (3)

通稱號 先一二六六一

郵便所名

全般概要

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人調編

別隊

隊長名  
(内は先代を示す)

戰人  
戦員

平時  
平時

戰時  
戰時

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ソ運の變動

入ソ人員  
隊別計

滿洲残留

收

隊中三十第	隊中二十第	隊中一十第	隊中十第
長大尉 大竹秀夫 中尉 佐藤			
80~90	80~90	80~90	80~90
右同	島守占	島籠概	島守占
右同	上同	島守占	上同

部隊名 第九二師團第一砲兵隊 (3)

通稱 號先一二六六一

郵便所名

別隊	隊長名 (内は先代を示す)	強人 戦員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソシ迄の變動	入ソシ人員 除別計	滿洲残留	收容所名	收容所	歸還人員 滿洲ソ領より計	状況不明 者数
第十隊		80~90	島守占									
第十一隊		80~90	島窪親									
第十二隊		80~90	島守占									
第十三隊		80~90	島守占									
第十四隊		80~90	島守占									
第十五隊		80~90	島守占									
第十六隊		80~90	島守占									
第十七隊		80~90	島守占									
第十八隊		80~90	島守占									
第十九隊		80~90	島守占									
第二十隊		80~90	島守占									
第二十一隊		80~90	島守占									
第二十二隊		80~90	島守占									
第二十三隊		80~90	島守占									
第二十四隊		80~90	島守占									
第二十五隊		80~90	島守占									
第二十六隊		80~90	島守占									
第二十七隊		80~90	島守占									
第二十八隊		80~90	島守占									
第二十九隊		80~90	島守占									
第三十隊		80~90	島守占									

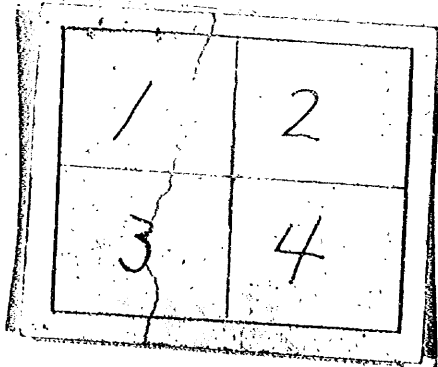
長大尉 大竹秀夫  
中尉 佐藤

	隊 中 三 十 第	隊 中 二 十 第	隊 中 一 十 第	隊 中 一 十 第
	長 大尉 大竹秀夫 中 尉 佐藤			
	80~90	80~90	80~90	80~90
	右 同	島守占	島達親	島守占
	右 同	上 同	島守占	上 同



隊中三十第	隊中二十第	隊中一十第	隊中一十第
	中尉 大尉 佐藤 大竹 秀夫		
80~90	80~90	80~90	80~90
右 同	島守占	島守占	島守占
右 同	上 同	島守占	上 同

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0450  
0451  
0452

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團第二砲兵隊 (I)

通稱號 先一二六六三

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編	隊別		戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入りの變動		隊別計	滿洲残留	收				
		十九年以降	十九年以降		隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入りの變動	隊別計	滿洲残留	收						
935																			
中 10K 三 第				隊 小 10K 二 第				隊 中 10K 一 第				部 本							
中尉 大澤 少尉 細馬 篤		1 大尉 畠山 久市 2 准尉 村井 俊 3 中尉 中島 猛男 4 同 松川 延治 5 少尉 白井 長五郎		1 中尉 三浦 佐武郎 2 中尉 永井 康昌 3 同 阿部 久雄 粉川 潔		中尉 佐 坂口 元男 少佐 小泉 副官 藤谷 常松 大尉 藤井 中尉 藤山 少尉 後藤 篤 主少尉 鈴木													
109				105				島守占				守占・鑑鏡							
島鑑鏡				島守占				右 同				守占・鑑鏡							
同 右				同 右				同 右				同 右							
敵カムチヤミカより砲撃、之に對し砲撃開始此間砲撃による損害なし 二〇、八、一八、朝霧上陸したる爲、防禦 隊死、二一三〇名 負傷、四一五〇名				二〇、八、一七、より戰鬥開始 死三、隊一				二〇、八、一八、直接戰鬥は中隊長の指揮する一ヶ小隊 隊死二、行方不明一、重傷一				二〇、九、六、一砲作業大隊と將校大隊と分離、爾後一隊大隊の狀況不明 未歸還 中尉 永井康昌				1 守第十四大隊 長伊藤中尉 一、〇〇〇名、第二砲兵隊 二五〇名、チヤン			

一、守第十四大隊を山に於て幾平を駆逐して干渉隊を出せり  
八、二、三  
二、守野行隊に於て、武原本部、一守隊、二守隊、三守隊、四守隊は曉達に於て、武原桑田大尉を擁する作業隊十八大隊を編成

隊名 第九一師團第二砲兵隊(1)

通稱號 先一二六六三

郵便所名

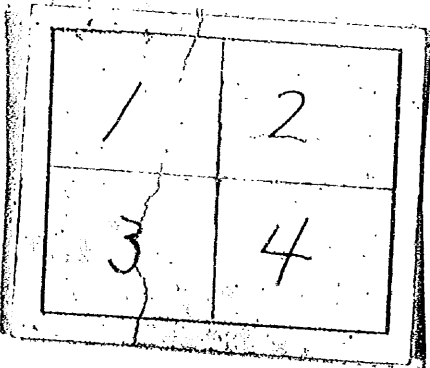
隊別	本部	隊長名	隊員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	滿洲殘留	收容所名	所入	死亡	滿洲より領	歸還人員	狀況不明者数
第九一師團第二砲兵隊(1)	中尉 三浦佐武郎 中尉 永井康昌 少尉 阿部久雄 同 粉川一深	中尉 三浦佐武郎 中尉 永井康昌 少尉 阿部久雄 同 粉川一深	105	島守占	右 同	二〇、八、一八、直接戰鬥は中隊長の指揮する一ヶ小隊 戦死二名方不明一、受傷一	同 右 二〇、八、二二、於占守式解	11守第十四大隊 長伊藤中尉 一、〇〇〇名(第二砲兵隊 二五〇) スリーチン)							
	大尉 島山久市 准尉 村井俊 中尉 中島猛男 同 松川延治 少尉 白井長五郎	大尉 島山久市 准尉 村井俊 中尉 中島猛男 同 松川延治 少尉 白井長五郎	109	島鏡	右 同	二〇、八、一七、より戰鬥開始 死三、傷一	同 右								
	中尉 大澤 少尉 細馬 篤	中尉 大澤 少尉 細馬 篤			同 右	敵カムチャツカより砲撃、之に對し砲撃隊 始此間砲撃による損害なし 二〇、八、一八、朝敵上陸したる爲、防禦 隊展開 戦死 二一三〇名 負傷 四一五〇名									

二〇、一〇、一六  
 二〇、一〇、一九  
 二〇、一〇、二〇  
 二〇、一〇、二一  
 二〇、一〇、二二  
 二〇、一〇、二三  
 二〇、一〇、二四  
 二〇、一〇、二五  
 二〇、一〇、二六  
 二〇、一〇、二七  
 二〇、一〇、二八  
 二〇、一〇、二九  
 二〇、一〇、三〇  
 二〇、一〇、三一  
 二〇、一〇、三二  
 二〇、一〇、三三  
 二〇、一〇、三四  
 二〇、一〇、三五  
 二〇、一〇、三六  
 二〇、一〇、三七  
 二〇、一〇、三八  
 二〇、一〇、三九  
 二〇、一〇、四〇  
 二〇、一〇、四一  
 二〇、一〇、四二  
 二〇、一〇、四三  
 二〇、一〇、四四  
 二〇、一〇、四五  
 二〇、一〇、四六  
 二〇、一〇、四七  
 二〇、一〇、四八  
 二〇、一〇、四九  
 二〇、一〇、五〇  
 二〇、一〇、五一  
 二〇、一〇、五二  
 二〇、一〇、五三  
 二〇、一〇、五四  
 二〇、一〇、五五  
 二〇、一〇、五六  
 二〇、一〇、五七  
 二〇、一〇、五八  
 二〇、一〇、五九  
 二〇、一〇、六〇  
 二〇、一〇、六一  
 二〇、一〇、六二  
 二〇、一〇、六三  
 二〇、一〇、六四  
 二〇、一〇、六五  
 二〇、一〇、六六  
 二〇、一〇、六七  
 二〇、一〇、六八  
 二〇、一〇、六九  
 二〇、一〇、七〇  
 二〇、一〇、七一  
 二〇、一〇、七二  
 二〇、一〇、七三  
 二〇、一〇、七四  
 二〇、一〇、七五  
 二〇、一〇、七六  
 二〇、一〇、七七  
 二〇、一〇、七八  
 二〇、一〇、七九  
 二〇、一〇、八〇  
 二〇、一〇、八一  
 二〇、一〇、八二  
 二〇、一〇、八三  
 二〇、一〇、八四  
 二〇、一〇、八五  
 二〇、一〇、八六  
 二〇、一〇、八七  
 二〇、一〇、八八  
 二〇、一〇、八九  
 二〇、一〇、九〇  
 二〇、一〇、九一  
 二〇、一〇、九二  
 二〇、一〇、九三  
 二〇、一〇、九四  
 二〇、一〇、九五  
 二〇、一〇、九六  
 二〇、一〇、九七  
 二〇、一〇、九八  
 二〇、一〇、九九  
 二〇、一〇、一〇〇

本 部	第 一 隊 10K 中	第 二 隊 10K 小	第 三 隊 10K 中	第 四 隊 10K 中
中尉 坂元元男 少佐 小森 大尉 藤谷常徳 中尉 藤谷常徳 少尉 藤谷常徳 主少尉 藤谷常徳	中尉 三浦佐武郎 1 中尉 永井康昌 2 少尉 阿部久雄 3 同 粉川 潔	大尉 島山 久市 1 准尉 村井 俊 2 中尉 中島猛男 3 同 松川延治 4 少尉 白井長五郎	中尉 大澤 篤 少尉 細馬 篤	中尉 嘉藤 幹夫 少尉 杉田 陽之 中尉 名倉 真次 少尉 名倉 真次
	105	109		
島守占	島守占	島守占	島守占	島守占
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
二〇、八、一八、直接戦中に中隊長の指揮する一々小隊 戦死二、行方不明一、負傷一	二〇、八、一七、より戦斗開始 死三、戦死一	敵カムフラージュにより砲撃、之に對し砲撃開始此間砲撃による損害なし 二〇、八、一八、朝敵上陸したる爲、防禦戦展開 戦死 二、三〇名 負傷 四、五〇名	戦死海峽に於て敵砲撃隊 損害なし	
二〇、九、六、一隊砲撃隊と砲撃隊とを 攻撃する、砲撃一隊大砲の攻撃不可 宗田中尉 永井中尉	二〇、八、二二、於占守島			
守第十四大隊 中尉 中尉 一、〇〇〇名（第二連隊隊 二五〇） キーチャマン				

隊中 10K 四 第	隊中 10K 三 第	隊小 10K 二 第	隊中 10K 一 第	部 本
中尉 蓋藤 少尉 杉田 幹夫 中尉 芝 陽之 少尉 名倉 真次	中尉 大澤 篤 少尉 細馬 篤	大尉 島山 久市 1 准尉 村井 俊 2 中尉 中島 猛男 3 同 松川 延治 4 少尉 白井 長五郎	中尉 三浦 佐武郎 1 中尉 永井 康昌 2 少尉 阿部 久雄 3 同 粉川 一潔	中尉 佐 深 三三夫 少尉 佐 小 宗 大尉 藤 公 清 中尉 藤 井 茂 警中尉 藤 井 茂 少尉 後 藤 篤 主少尉 鈴木 篤
		109	105	
島 筵 幌	島 筵 幌		島 守 占	
島 筵 幌 島 守 占 部 一	同 右		同 右	寺 占 筵 幌
戦艦海峽に於て艦東射撃 損耗なし	敵カムチャツカより砲撃、之に對し砲撃開始 始此間砲撃による損害なし 二〇、八、一八、朝敵上陸したる爲、防禦 展開 戦死 二一三〇名 負傷 四一五〇名	二〇、八、一七、より砲撃開始 死三、戦隊一	二〇、八、一八、直接砲撃に中隊長の指揮 する一ヶ小隊 戦死二、行方不明一、重傷一	二〇、九、六、一、戦艦大井と戦艦六六、 六分隊の、砲撃一隊大尉の指揮下、 未だ砲撃中、戦艦大井
同 右	同 右	同 右	同 右 二〇、八、二三、於古守武隊	同 右
			守第十四大隊 長伊藤中尉 一、〇〇〇名(第二砲兵隊 二五〇) スーチャマン	

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0453  
0454  
0455

所屬 第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團第二砲兵隊 (2)

通稱號 先一二六六三

郵便所名

全般概要				轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員人編制	
第八中隊	第七中隊	第六中隊	第五中隊 (15K)	別隊		隊長名 ( )内は先代を示す	
		大尉 山ノ内一臣 中尉 大隈 賢治 少尉 定榮 隆 同 中野 准尉 馬場	大尉 岡崎 作治 少尉 吉武 邦男 同 綿屋 貞紀 同 鶴間 啓一	駐屯地		戰鬥間の状況及損耗	
		島 守 占	島 筵 幌	本時	戰時	終戦後の人員變動	
		同上 島筵幌部	す遷轉に島守占部一島筵幌	戰鬥間の状況及損耗 昭和三〇、八、一九、古守海峽の艦隊射撃及一 カミヤサツカ一砲兵隊 戦死二		作業大隊より 入ソシ迄の變動	
				入ソシ人員	隊別計	滿洲殘留	
				收		收	

昭和三〇、五、北海近海



部隊名 第九一師團第二砲兵隊 (2) 通稱 號先一二六六三

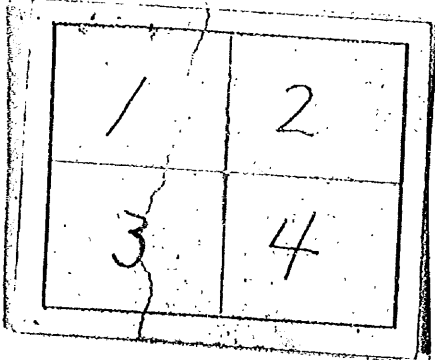
郵便所名

人員編制			隊長名 (内は先代を不示)	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ返の變動		入ソ人員		滿洲殘留	收容所		歸還人員		狀況不明者數	
別	隊	降		時	本			戦	隊	計	所		所	死	より	より		計
中 八 第	隊 中 七 第	隊 中 六 第	隊 中 (15K) 五 第	大尉 岡崎 作治 少尉 吉武 邦男 同 綿屋 貞紀 同 鶴岡 啓一	砲	砲	二〇、八、一九、占守海峡の艦隊射撃及一 カムチャツカに砲兵隊 戦死二	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		大尉 山ノ内一臣 中尉 大隈 賢治 少尉 定榮 隆 同 中野 准尉 馬場		砲	砲													
		占守島	幌筈島															
		同上	幌筈島一部															
同																		

隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	隊 中 六 第	隊 中 (15次) 五 第
			大尉 山ノ内一臣 中尉 大隈 賢治 少尉 定 榮 同 中 野 准尉 馬 場	大尉 山ノ内一臣 中尉 大隈 賢治 少尉 定 榮 同 中 野 准尉 馬 場
			島 守 古	島 守 古
			上 同 島 守 古	上 同 島 守 古
同 右	同 右	昭和二〇、五、廿六日 島 守 古		昭和二〇、五、廿六日 島 守 古

隊 中 九 第	隊 中 八 第	隊 中 七 第	隊 中 六 第	隊 中 (15K) 五 第
			大尉 山ノ内一臣 中尉 大隈 賢治 少尉 定榮 隆 准尉 中野 隆 馬場	大尉 吉良 秀男 中尉 青島 英一 少尉 松本 隆
			島 守 占	島 鏡 榮
			上 同 島鏡視部一	島鏡視部一
同 右	同 右	昭和二〇、五、北海道に轉送		昭和二〇、五、北海道に轉送

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0457  
0458  
0459  
0460

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團防空隊(1)

通稱號先一二六六四

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人訓練	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	隊別計	滿洲残留	收容
<p>一八、九、一四、編成 本部為第陸三ヶ大隊照空二ヶ大隊 人員約二、四五〇名 占守島長崎及幌延島松原附近に於て防空隊半を編成 二〇、五 第二大隊及一、十二中隊北海道下鶴通 二〇、八、二三 占守島三好野飛行場に於て武解後被兵合に隊隊</p> <p>九、三 作第第十二大隊北千島第二十一大隊第陸大隊を編成 十二大隊は九、二八占守島片岡駐屯、一〇、六ソウヤミン上陸、四地隊隊所に收 西尾中尉の指揮する北千島第二十一大隊は本部隊に於て各作業の分隊せる模様なり</p> <p>一部特設者技術大隊として抽出 第陸大隊は「ソ」理由「エラブカ」に收容せる</p> <p>二、一、一、一 村上少佐以下十六名(將校)北千島四隊、一、一八、「ソ」ボトカ一隊</p> <p>一、二、五 「スバツカ」四、二五、「ラーダ」二、「エラブカ」 B村上少佐に「エラブカ」 A金子中尉に「カチン」收容所</p>		十九年以降	十九年以降	2450	別	(内は先代を示す) 部長 鈴木 村治 指揮班長 中佐 村田 太郎 副官 少佐 金子 義雄 部附 大尉 飯島 健次郎	214	島 鏡 幌 上 同 (原 柏)	<p>二〇、八、一四、上四少尉外十三名「オネニタン」より轉進の途次行方不明 「オネニタン」海峽に於て米艦に撃沈されたと確信である 鏡幌島松原に於て防空作業をなす</p> <p>米空軍と交戦、部隊の損害約九〇名戦死を以、ソ一軍との戦いに於て防空隊全員として二〇名餘、占守島國境警備隊の人員となり「ソ」軍上陸地に孤立し戦死又は行方不明となる (内一名戦死確実)</p> <p>北海道に轉進せり</p> <p>鏡幌島に在りし部隊へ連絡なき爲、不明なるも「マルシヤンスク」方面にある模様</p>	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	214	滿洲残留	收容

名第九一師團防空隊(1)

通稱號先一二六六四

郵便所名

隊別	隊長名	人員	駐屯地	戦闘中の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
中尉 川邊	部長 鈴木 村治 指揮班長 中佐 村田律太郎 副官 少佐 金子 義雄 部附 大尉 飯島健太郎	214	島 筵 幌	二〇、八、一四、上田少尉外十三名「オネコタン」より歸還の途次行方不明「オネコタン」海峽に於て米艦に撃沈されたことは確實である 機銃島に於て防空作戦をたす	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	214	満洲残留	收容所名	歸還人員	状況不明者数
島 筵 幌	右 同		島 筵 幌								
上 同 (原 柏)	右 同		上 同 (原 柏)	米空軍と交戦、部隊の損害約九〇名戦死せり、「ソ」軍との戦中に於て防空隊員として二〇名餘、占守島國境警備隊の人員となり「ソ」軍上陸地に孤立し戦死又は行方不明となる (内一名戦死確実)							
中尉 川邊				機銃島に在りし部隊へ連絡なき爲、不明なるも「マルシヤンスク」方面にある模様							
				北海道的に歸還せり							

一、二五  
 「スミツカ」四、二五、  
 「ラーダ」七、二二、  
 「エラ  
 ノカ」  
 B村上少佐は「エラノカ」  
 A金平中尉は「カサ」  
 容所

村上少佐以下十六名(將校  
 )北千島田要「一、一八、  
 」サカトカ「着

九、三  
 許第第十二大隊北千島第二  
 十一大隊將校大隊を編成  
 十二大隊は九、二八占守島  
 片岡田要「一〇、六ソノヤ  
 」の上陸、同地收容所に收  
 容中尉の指揮する北千島  
 第二十一大隊は本隊を以て  
 各作業の分隊せる指揮カ  
 リ  
 一、部隊技術者大隊として、  
 抽出  
 將校大隊「スミツカ」  
 「エラノカ」に收容せる

二〇、五  
 第二大隊及一、十二中隊北  
 海道に編成

二〇、八、二二  
 占守島三好理道行跡に於て  
 公報被殺者合計を詳説

2450

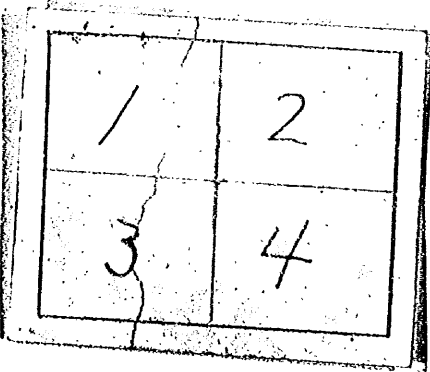
本 部	第 一 大 隊 本 部	第 一 中 隊	第 二 中 隊	第 三 中 隊
大佐 鈴木 村治 指揮官 中佐 村田 徳太郎 少佐 金子 義雄 大尉 飯島 健次郎	中佐 小松 冬彦	中尉 川邊	大尉 野木山	
214				
島 健 観	右 同	島 健 観	右 同	
上 司 (原 治)	右 同	上 同 (原 柏)	上 同	
米登軍と交戦、部隊の損害約九〇名戦死を 示し、「ソノ」軍との戦斗に於て防空隊員と して二〇名、占守島陸軍軍需庫の人員 となり、「ソノ」軍上陸地に孤立し戦死又は行 方不明となる。 (内一名戦死確定)	北海道に轉進せり	飯島島に在りし部隊へ連絡なき爲、不明な るも「マルシヤンスタ」方面にある模様		

214

隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 大 一 第	部 本
大尉 野木山	中尉 川邊		中佐 小松 冬彦	大佐 鈴木 武徳 中佐 津田 大樹 少佐 金子 登雄 大尉 飯島 次郎
214				214
右 同	島 鏡 視		右 同	島 鏡 視
上 同	上 同 (原 柏)		右 同	上 同 (原 浩)
	概延島に在りし部隊へ連絡なき爲、不明なるも「マルシヤンスタ」方面にある模様	北緯25度20分	米空軍と交戦、部隊の損害約九〇名殺死あり、「ソニー」軍との戦中、防衛隊員として二〇名、うち島嶼捕獲隊員となり、「ソニー」軍に捕縛され、死行方不明となり。(内一名戦死確実)	1942年11月1日、米空軍の攻撃を受け、本隊は概延島に在りし部隊へ連絡なき爲、不明なるも「マルシヤンスタ」方面にある模様
				214



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0461  
0462  
0463  
0464

係所

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團防空隊 (2)

通稱號 先一二六六四

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
十九年以降		十九年以降					
隊別	隊長名	戰時人員	平時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動
第九一師團防空隊	(内は先代を示す) 大尉 竹内 善次	150	島筵幌	島筵幌	第二大隊のみ、二〇、五頃、二ヶ拂圖で別々北海道に轉進す。二回目に移動せる機體は潜水艦により漸次全滅せり。(死傷四〇〇名)	占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。	占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。占守島に於て作業第十二大隊に編入。
第三大隊本部	少佐 村上 茂		島守占	同上	二〇、六、以降米機の本格的來襲あり。二〇、八、二〇、對ソ防空戰開始、ソ機來襲せるも大なる損害なし。二〇、八、二一、終戦		同上
第九中隊	中尉 今橋 喜三		島筵幌	占守島			
第四中隊			島筵幌	同上			
第二大隊	長少佐 長谷川 北海道に轉進						
第九中隊							
隊別計							
滿洲殘留							
收容							

部隊名 第九一師團防空隊 (2)

通稱號 先一二六六四

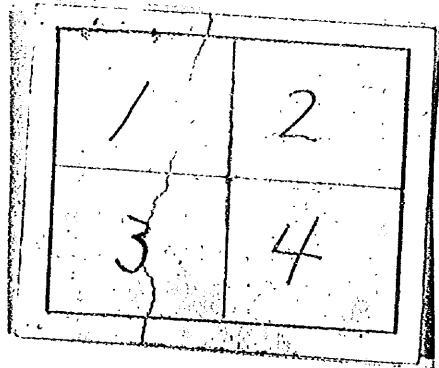
郵便所名

出		編		別		隊	
以		員		別		隊	
中		部		隊		隊	
九		本		天		中	
第		隊		二		第	
第		三		第		第	
中尉 今橋 喜三	少佐 村上 茂	長少佐 長谷川 北海道に轉進	大尉 竹内 善次	隊長 名 (内は先代を示す)	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動
	150			時 間	島鏡嶮		
島鏡嶮	島守占			平時			
占守島 岬山 幌鏡嶮	上 同			戰時	上 同		
		第二大隊のみ、二〇、五頃、三ヶ村に別々北進して轉進す。二回目に移動せる村には潜水艦により轟沈全滅セリ。(死約四〇〇名)					
		二〇、六、以降米機の本格的來襲あり。二〇、八、二〇、對ソ防空開始、ソ機來襲せるも大なる損害なし。二〇、八、二一、終戦					
		占守島に於て作業第十二大隊編成。落後終戦大隊に編入。二〇、一〇、一「ボート」二「上陸」水「トラン」八三六枚船所入所					
		同 右					
				作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	滿洲殘留	
				隊別	計		
				收容所名	收容所		
				員所人	死亡		
				より滿洲	よりソ領		
				計	計		
				者	狀況不明		
				數	數		

隊 中 十 第	隊 中 九 第	部 本 隊 大 三 第	隊 天 二 第	隊 中 四 第
中尉 桑子 誠 少尉 油 清次郎 同 風間 定次郎 同 足立 一平	中尉 今橋 喜三	少佐 村上 茂	長少佐 長谷川 北海道 転進	大 塚 修 次
120		150		
右 同	島 鑑 嶺	島 守 占		島 鑑 嶺
占守島 訓練 長崎	幌 籠 島 兜 山 占守島	上 同		上 同
北千島 占守島、長崎に陣地占領し、占守島東部より進入する敵機及び駆逐艦隊の襲撃に任じたが、二〇、八、一八、二二、二五、上陸と同時に二ヶ小隊（指揮小隊共）高射砲二門を携行訓練場に陣地占領し、一ヶ小隊は長崎にて後方整備		二〇、六、以降米機の本格的來襲あり 二〇、八、二〇、射撃空襲開始、 ソコ機來襲せりも大なる損害なし 二〇、八、二二、終戦	第二大隊のみ、二〇、五頃、二ヶ機団に別々北千島に轉進す 二回目に移動せる機団は潜水艦により激次全滅せり （死約四〇〇名）	占守島に於て作業第十二大隊編成 機団は射撃大隊に編入 二〇、一〇、一「ポルトワ」 ニ「上陸」ボルトワニ「八三」 三「六」機団編入所
120				

隊 中 十 第	隊 中 九 第	部 本 隊 大 三 第	隊 天 二 第	隊 中 四 第
中尉 兼子 少尉 油 清太郎 誠 同 風間 定次郎 同 足立 一平	中尉 今橋 喜三	少佐 村上 茂	長少佐 長谷川 北海道 鶴進	大尉 竹内 善次
120		150		
右 同	島 鏡 幌	島 守 占		島 鏡 幌
占守島 訓練所 長 崎	幌 鏡 島 兜 山 占守島	上 同		二 同
北千島占守島、長崎に陣地を占領し、占守島 東部より進入する艦隊及び機雷艇隊の警戒 を任じていたが、二〇、八、一八(シ)に 上陸と同時に二ヶ小隊(指揮小隊等) 高射砲二門を飛行訓練場に陣地を占領し、一ヶ 小隊は長崎に後方警備		二〇、六、以降本隊の本格的な準備あり 二〇、八、二〇、對空砲開始、 シ艦隊攻撃をも大なる損害なし 二〇、八、二二、終戦	第二大隊のみ、二〇、五、二ヶ小隊に理 を北海道的に準備す 二回目は移動せる機雷艇は潜水艦より遠く 各隊をリ (北千島)〇〇〇(北)	
二〇、九、一 長崎に集結 二〇、九、一六 作業第十五次隊編成 二〇、九、一七 八隊間に集結 二〇、一〇、六 「北千島」ニ一八三六機雷 所下		同 右	占守島に於て作業第十二大 隊編成 海兵隊大隊に編入 二〇、一〇、一「北千島」 二「上陸」機雷艇隊 三「隊警備所」入所	
120				

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0465  
0466  
0467  
0468

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團防空隊 (3)

通稱號先一二六六四

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編	別	隊長名	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留
十九年以降		十九年以降			隊別	( )内は先代を示す	平時	地上部隊に配属となり戰鬥要員指定なし				
隊中三十第	部本隊大四第	隊中二十第	隊中一十第			中尉 鈴木	島守占					
中尉 山藤 々三	長少佐 土居義雄	北海道に轉進					島守占					
島守占	島達規						上同					
上同	上同											
<p>第三大隊第十三中隊全部作業大隊編成す          大隊長中尉 山藤々三          大隊附助教          中尉 佐々木(富山縣)          少尉 土居(北海道)          同 油谷一郎(世三名)          一〇、九下旬入「ソ」せる          横濱</p>												

部隊名第九一師團防空隊(3)

通稱號先一二六六四

郵便所名

隊別	隊長名 ( )内は先代を示す	戦時人員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
第十一中隊	中尉 鈴木		島守占	地上部隊に配属となり戦時業務遂行なし							
第十二中隊	北海道に轉進		島守占								
第十四大隊本部	長少佐 土居義雄		島守占								
第十五中隊	中尉 山藤々三		同上								

第十三大隊本部作  
業大隊編成す  
大隊長中尉 山藤々三  
大隊附助教  
中尉 佐々木  
少尉 土屋  
同 油谷一郎、他二名  
一〇、九下旬入「ソ」せる  
操縦



隊中四十第	隊中三十第	部本隊大四第	隊中二十第	隊中一十第
中尉 井永	中尉 山藤 々三	長少佐 土居義雄	北海道に轉進	
島鐘規	島守占	島鐘規		
上同	上同	上同		

第三大隊第十三中隊全部作  
 業大降編成す  
 大隊長中尉 山藤々三  
 大隊附少尉  
 中尉 佐々木(富山縣)  
 少尉 土屋(北海道)  
 同 池田一郎、田三  
 二〇、九下句入「ソ」を  
 撤除

隊 中 四 十 第	隊 中 三 十 第	部 本 隊 大 四 第	隊 中 二 十 第	隊 中 一 十 第
中尉 井永	中尉 山藤 々三	長少佐 土居義雄	北海遊撃 轉進	
島鏡視	島守占	島鏡視		島守占
上 同	上 同	上 同		上 同
<p>第三大隊第十三中隊全部作 業大隊編成寸 大隊長中尉 山藤々三 大隊附將校 中尉 佐々木 (高山縣) 少尉 土居 (北海遊撃) 司 油濱一郎 (隊二名) 二〇、九下旬入「ン」キ 機隊</p>				